

住みたいまち大刀洗 住んでよかった大刀洗町



- 赤い羽根共同募金運動が始まります
- 特集 この人に聞く～障がいとともに生きる～
- 下高橋いきいき体操教室が5周年
- ミニデイ元気に開催中！
- 笑顔キラキラ☆保育園だより
- 語ろう会 9月の定例会～障がい者差別解消法～
- ほっこり井戸端サロンのご案内



大堰保育園「おおきなしゃぼんだま、できました」

■ 社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会

〒830-1201 大刀洗町大字富多819
TEL/0942-77-4877 Fax/0942-77-6220

■ 大堰保育園

〒830-1205
大刀洗町大字守部465-5
TEL/0942-77-1402

■ 本郷保育園

〒830-1211
大刀洗町大字本郷899-1
TEL/0942-77-2220

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>

涼しくなりました！
外に出て秋を感じ
ましょう！



赤い羽根共同募金運動が始まります

運動期間 10月1日～12月31日

共同募金は、通称「赤い羽根募金」とも呼ばれ、全国一斉に行われる募金運動です。地域の福祉活動などに役立てるための民間の募金で、その地域の実情に合わせて柔軟に活用できるという特徴があります。また、大規模災害の備えとして募金額の一部が積立てられ、昨今発生している災害時の活動資金として活用されています。

今年も10月1日より募金運動が始まりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- 戸別募金 区長さん等の協力を得て、世帯別に募金をお願いしています。(1世帯700円)
- 事業所募金 町内の事業所の皆様に募金をお願いしています。
- 募金箱設置 小中学校や金融機関に募金箱の設置をお願いしています。
- 赤い羽根自販機 飲料代の一部が寄付されるしくみです。大刀洗町では、ふれあいセンターと就業改善センターに設置しています。
- イベント募金 ドリームまつり等で共同募金ブースを出店し、売り上げ全額を募金としています。

昨年お寄せいただいた募金は、
今年度の町の地域福祉活動に役立てられています



- 高齢者福祉活動費 (380,000円)
老人クラブ支援、独居高齢者味噌配布事業 等
- 障害児・者福祉活動費 (190,000円)
身障協会支援、家族会支援、車いすバスケット大会支援
- 児童・青少年福祉活動費 (585,000円)
福祉協力校事業、保育園福祉推進費 他
- 住民福祉活動費 (1,996,000円)
ミニデイサービス事業、社協だより配布



福岡県共同募金会大刀洗町支会 (大刀洗町社会福祉協議会)

大刀洗町大字富多 819 ぬくもりの館大刀洗内 TEL / 77-4877 FAX / 77-6220

今回は、「語ろう会（障がい者当事者と家族の会）」を主宰している森蘭子さん（富多在住）にお話を聞きました。森さんは身体障害者手帳1級を持ち、車椅子で仕事をし生活されています。（6ページの語ろう会の関連記事もご覧ください。）



Q 4歳で施設へ 現実を自覚することからリハビリが始まった

1歳7か月の時にポリオにかかり障がいが残りました。療育のため4歳で親元を離れ施設に入りました。両親は私に「なぜ施設に行くのか」を話してくれたと思います。納得して施設に行きました。当時、学校に行かず家で過ごす障がい児が多かった時代、私は施設内の保育園、養護学校に行くことができました。保育園の頃には「自分の身体はこのままなのだ」と自覚していました。だから、障がいを持って生きるために、痛みを伴う厳しいリハビリも歯を食いしばって取り組みました。

Q いつも考えていた「生きて行くこと」

小学校3年の夏休みにふと、「親はいずれ先に死ぬ、私はどうなるんだろう」と目の前が真っ暗になったことがあります。表向きは快活にしていますが、ずっと怖かったですね。

施設では大人の顔色を見て生活するのが生きる知恵でした。職員から「あんたは頑張っていない」など言葉の圧力もありましたが、今思うと私の障がいに対する相手の理解不足もあったと思います。

中学卒業を前に「これからどう生きて行くか」を考えるようになりました。家に帰りたいたい…高校へ行きたい…いろいろな思いがありました。家に戻り店（酒屋）の仕事をする事になりやっと道が見えて安心したのもつかの間、10年間家にいなかった私と家族は、お互いの生活を理解し慣れるのにとっても苦労しました。

Q 障がい当事者の会に参加、外に出る

16歳の頃、施設時代の同級生N君と「立ち上がろう会」を立ち上げました。障がい当事者の会として始めは手探りでしたが、会の仲間と

九大の学生ボランティアと一緒に電車に乗って出かけ、不便なことがあれば西鉄に交渉したり理解を求めるピラを配ったりしていました。あるデパートの中2階から階段の昇降を通行人をお願いして手伝ってもらっていたところ、デパートの店員が飛んできて交代したことがありました。協力というより明らかに迷惑といった感じで、言外に「お客様に何をさせるのか」と言っているようでした。

その後6～7年で会が解散。それから10年以上出かける機会はほとんどなくなりました。再び外に出るようになったのは30代半ば、甘木市社協（当時）の人を通して「小郡市障がい児（者）を考える会」に参加したことです。会の友人たちとJRや電車を乗り継いで泊まりで出かけ、JRの職員さんや乗り合わせた人たちにお世話になりながら小旅行を楽しみました。

Q 行政とバトル？

平成5年に大刀洗町に社協ができ手話サークルに参加するようになり、いろいろな人と知り合いました。そんな中、現在の自立支援法の前身、支援費制度をめぐって、私は行政と大バトル(?)をすることになるのです。（続きは次回11月号で…お楽しみに）

知っとこ!

語ろう会
（障がい者当事者及び家族の会）
気軽に話をしに来ませんか？
定例会：毎月第1火曜日
午後8時～
場 所：ぬくもりの館



下高橋いきいき体操教室が5周年

みんなでがんばって、ますます**元気**に

下高橋のいきいき体操教室が今年7月で5周年を迎えました。取材に伺った9月2日は19名が堀内武美さん指導の下、午前10時から1時間30分、5分間の休憩をはさんで全メニューをしっかりと運動、(失礼ながら)高齢者とは思えない体力と持久力に驚きました。

運動後、指導されている堀内武美さんにお話を伺いました。

「始めは3名だった参加者も『よかけなよ〜』の声が広がり、現在は27名に増えました。みなさん、集中して頑張っておられ大したものです。体を動かす関節を支える筋力の維持・柔軟力・身体のバランスをとる運動を、無理せず自分で強弱をつけて運動できるよう指導しています。

これからは、5年間で同年代の自分の身体で感じてわかったことを進化させていきたい。今後は呼吸筋を強くする体操も考えています。何より、ここに来てみんなで話すのが楽しみのようです」

よく研究された運動メニューと、その人のリズムで無理なく続けられる堀内さんの指導、そしてみんなで和気あいあいと続けることが良い循環となっているようです。



「最高齢は90歳、私もがんばります」(84歳・女性)

「続けることが大事、堀内先生のおかげです」(89歳・女性)

「身体が弱って、始めは椅子に座っているだけでしたが、みなさんとのふれあいが楽しく続けているうちに元気になりました」(85歳・女性)

ミニデイ元気に開催中!



栄田ミニデイ…逃げるが先かな〜(心の声)



菅野ミニデイ…みなさん必見!



高樋ミニデイ…キャハハハ おかしか〜



山隈ミニデイ…元気をもらえるな〜



北鶴木ミニデイ…みんな真剣



守部ミニデイ…今年の願いは…

本郷保育園

8月30日 フール納会

怪我もなく、楽しくフール遊びをしました。水が怖かった子も少しずつ慣れてきたり、顔付けやアヒル歩き・ワニ歩き・バタ足ができるようになったりとそれぞれできることが増えて自信が付き、嬉しそうに「見ててね」と披露してくれました。水の神様にお礼を言って、最後のフール遊びをのびのびと楽しみました。



どろ団子を作ったよ～



さあ！おみこしの始まりわっしょいわっしょい！！

笑顔キラキラ☆ 保育園 だより

防災の日って、どんな日かなあ～



みてみて！じょうずでしょう？

大堰保育園

新たな目標に向かって挑戦！

暑い夏も終わり涼しい季節を迎えようとしています。

おおぜきっ子は、運動会に向けて、遊びの中に鉄棒・縄跳び・かけっこなどを取り入れ、体力づくりに励んでいます。できなかったことができた時の満面の笑顔に成長を感じます。

子ども達の笑顔で楽しい目標達成の月になればと思っています。



ちからを入れて、げったい手ははなしません！

語ろう会

障がい者当事者及び家族の会 9月の定例会

今年4月から施行された「障害者差別解消法」について
役場健康福祉課よりお話を聞きました。



○障害者差別解消法とは

全ての人々が障がいの有無によって分け隔てられることなく、お互いを尊重し合いながら共に生きる社会の実現を目指してつくられました。

○その特徴は

・ 不当な差別的取り扱いの禁止

障がいを理由にサービスの提供を拒否したり、区別や制限、条件をつけたりすることなどが禁止されます。

・ 合理的配慮の提供

障がいの状態や性別、年齢などを配慮した対応やサービスを提供することが求められます。

○大刀洗町の取り組み

- ・ 職員対応要領の作成や研修の実施
- ・ 住民への啓発（7月人権映画上映会、8月人権朗読会を実施）
- ・ 障害者差別解消の推進に関する定期的な協議の場として、人権擁護委員を加えた「障害者差別解消支援地域協議会」の機能を大刀洗町自立支援協議会に付加

学習を終えて、会員からはさまざまな意見が活発に交換されました。

- ・ 差別は気づかないうちに存在している
- ・ これからの子どもたちに伝えたい、小・中学生にどう伝えていくのか、わかりにくい
- ・ 車椅子マークの駐車場の上に特売品売り場を設置しているスーパーを見かけて残念だった。
- ・ 視覚障がい者の転落事故。健常者が声をかけるだけで助かる、大事なものは教育。
- ・ 障がい者を知らないまま成長してどう接したらいいのかわからない人が多い。交流する機会があれば…。
- ・ 当事者がまちに出ることが大切
- ・ 大刀洗町は人口1万5,000人、ひとりひとりが行動すれば大きな1歩になる、町独自の取り組みを
- ・ 障がい者だけでなく、「誰でも共に」という視点を障がい者自身が持つことも大切

町の情報を音で聞きませんか？

録音CD利用者募集

「文字が見えない・見えにくい」「音声で聞きたい」という方、録音CDをご利用ください。朗読ボランティアが録音して提供しています。聞いてみたい方は社会福祉協議会までご連絡ください。

(試聴もできます。)



広報たちあらい
議会だより
社協だより

ボランティア連絡協議会の

ほっこり

井戸端サロン

誰でも気軽に

『熊本地震・被災地支援で感じたこと』

甚大な被害をもたらした熊本地震。報道を目にして「何か手伝えないか」と被災地支援に向かった方々から、現地での活動を通して感じたことをお聞きします。お気軽にご参加ください。

■日 時 10月8日(土) 午前10時～

■会 場 ぬくもりの館(役場東側)

■ゲスト 富多 木村 次男さん
本郷地域づくり委員会 白水 國光さん・平田 清二さん
大刀洗町社会福祉協議会 池松 昌亀さん

問合せ 事務局:大刀洗町社会福祉協議会 TEL77-4877